

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成24年度）

1. 機関番号

3	2	6	9	2
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 東京工科大学

3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成24年度～平成25年度

5. 課題番号

2	4	7	0	0	1	0	1
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題 脳波データを活用した映像コンテンツシナリオの分析と評価手法の研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
1 0 3 8 6 7 8 2	ミカミ コウジ 三上 浩司	メディア学部	准教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

<p>1「既存手法による作品分析」については、これまでに研究代表者らが実施してきた作品に加え、10作品の分析を進めた。</p> <p>2「完成作品の視聴時のEEGデータほか生体情報データの取得」に関しては、平成24年度は予備的な脳波の計測を10作品に対して実施した。平成24年度は、ひとつの作品に対して多くの被験者に対して実施する実験と、ひとりの被験者に着目して多くの作品での差異を図る2点に着目してデータを取得した。平成24年度は、これらのデータを整理し可視化した。また、他の生体情報データの取得に関連して、本研究費にて購入した簡易心拍計を用いて、特に心拍数に影響の大きいと考えられるホラー作品5作品の心拍数の計測実験を行った。</p> <p>3「既存のシナリオライティング方法論との比較」については、平成25年度に実施する予定であるため、本年度は2に示したデータを取得することに注力した。</p> <p>4「シナリオ段階での評価手法の検討」については、本研究の成果に基づき、「完成した映像」ではなく「シナリオ」の段階で映像作品の評価を行う手法について検討した。「シナリオ」から「絵コンテ」を生成しそれをもとに「ビデオコンテ」を作成する方法のほか、近年欧米でも注目を集めている3DCGソフトウェアを利用した「Pre-Visualization（プレビズ）」についても大きな可能性があることがわかった。そのため、本研究費において、プレビズソフトウェアを購入し、シナリオをもとにした簡易映像による映像評価のフローについて検討した。</p>
--

10. キーワード

(1) コンテンツ	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの達成度

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

当初の計画で平成24年度に設定した研究項目と比較して、1「既存手法による作品分析」については、順調に進んでいる。2「完成作品の視聴時のEEGデータほか生体情報データの取得」に関しては、予備実験は進み計測の準備が整ってきているが、予定したほどデータの取得ができていない。一方で、平成25年度に想定していた、4「シナリオ段階での評価手法の検討」については、方法論を検討し、動作検証を行うなど予定より早く進行している。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

平成25年度は、予備実験の結果を分析したうえで、2「完成作品の視聴時のEEGデータほか生体情報データの取得」を大幅に進めたい。そのためにも、現在有している簡易脳波計、心拍計に加え、筋電計や発汗計などの活用も想定して進めたい。これらのデータをもとに、3「既存のシナリオライティング方法論との比較」と、4「シナリオ段階での評価手法の検討」を進め、シナリオ段階での映像コンテンツの評価について実験を進めたい。平成25年度は、実験に必要な計測器（筋電計や発汗計）の購入と計測やデータの分析にかかわる諸謝金などに研究費を使用する予定である。また、当該分野は発展中の分野であるため、常に最新の情報を取り入れるために、国際会議等へ参加し情報を収集するとともに研究の成果を発表していきたい。

(次年度の研究費の使用計画)

該当なし

13.研究発表(平成24年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名		論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					

〔学会発表〕計(2)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名		発表標題	
三上浩司, Kenneth Chan, 近藤 邦雄, 金子 満		エンタテインメントコンテンツにおける コンテンツ工学的評価手法の考察	
学会等名	発表年月日	発表場所	
エンタテインメントコンピューティング2012	2012年09月28日～2012年09月30日	神戸大学(兵庫県)	

発表者名		発表標題	
三上浩司		Mindset(簡易脳波計)を活用したブレイン分析とレベルデザインへの応用の可能性	
学会等名	発表年月日	発表場所	
CEDEC2012	2012年08月20日～2012年08月22日	パシフィコ横浜(神奈川県)	

(図書) 計(0)件

著者名	出版社			
書名			発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

--